

都市公園の整備について

県 土 整 備 部

都市公園の整備について

1 都市公園の概要

(1) 都市公園の定義	3
(2) 公園の体系	3
(3) 県立都市公園	3
(4) 都市公園の種類	4
(5) 兵庫県における都市公園の現況	5
(6) 県立都市公園の整備状況	6
TOPIC コロナ禍における県立都市公園の利用分散～兵庫県独自の取組～	9

2 県立都市公園の管理運営の取組

(1) 管理運営の方針	10
(2) 参画と協働の取組	11
(3) 指定管理者制度	11
TOPIC 駐車料金見直し等による公園利用促進効果	12
(4) ネーミングライツの導入	13
(5) 広告掲載事業の実施	13
TOPIC アニメパークによる淡路島公園活性化の取組	14
TOPIC 淡路花博20周年記念 花みどりフェアの開催	15

3 県立都市公園のリノベーション

(1) 施設老朽化への対応	17
(2) 都市公園のリノベーション	19

4 国営明石海峡公園

(1) 整備の概要	22
(2) 令和3年度の整備内容	22
(3) 管理運営の概要	22

5 県立淡路景観園芸学校

(1) 教育内容	23
(2) 園芸療法定着促進事業	24
(3) 国際交流事業	24
(4) 地域貢献と情報発信	25
TOPIC コロナ禍における県立都市公園の利用実態に関する研究	26

都市公園の整備について

1 都市公園の概要

(1) 都市公園の定義

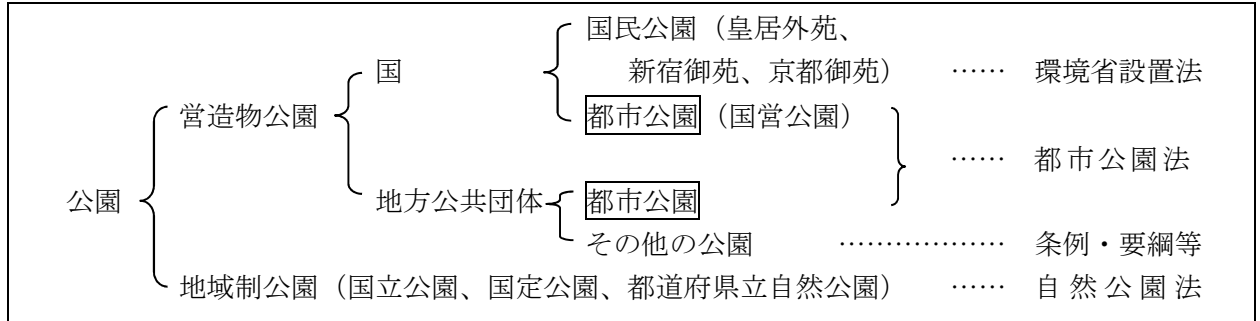
都市公園は、「都市公園法」において、「①都市計画施設である公園又は緑地で地方公共団体が設置するもの及び地方公共団体が都市計画区域内において設置する公園又は緑地、②一の都府県の区域を超えるような広域の見地から国が設置する都市計画施設である公園又は緑地及び国家的な記念事業として又は我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため閣議の決定を経て国が設置する都市計画施設である公園又は緑地」と定義されている。

(2) 公園の体系

一般に「公園」と呼ばれるものは、営造物公園と地域制公園とに大別される。**営造物公園**とは、国又は地方公共団体が一定の区域内の土地の権原（所有権等）を取得し、目的に応じた公園の形態を創り出して一般に公開する公園である。また、**地域制公園**とは、国又は地方公共団体が一定の区域内の土地について、土地の権原は取得せずに公園として指定し、土地利用の制限や行為の禁止等によって自然の風景地の保護等を行う公園である。

前者の代表が都市公園で、後者の代表が国立公園等の自然公園である（表－1）。

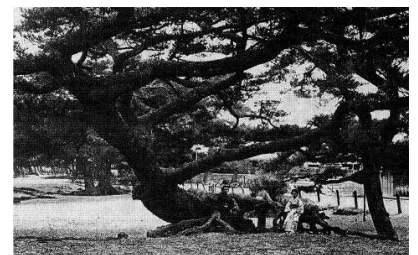
表－1 公園の体系



(3) 県立都市公園

県では、1900(明治 33)年に県立都市公園の第1号となる舞子公園を開設している。また、1918(大正 7)年には明石城址本丸等約 10ha を明石公園として開園し、その後2度の区域拡張を経て 1932(昭和 7)年にほぼ現在の区域を開設している。

その後、国において、1972(昭和 47)年に「都市公園等整備緊急措置法」が制定されるとともに、「第1次都市公園等整備五箇年計画」が策定されたことにより、都市公園の整備に関わる目標の設定や財源措置の裏付けがなされたこと等を受け、県においても、1973(昭和 48)年度以降、播磨中央公園をはじめとした広域公園等の整備を計画的に進めている。



明治時代の舞子公園



昭和初期の明石公園

(4) 都市公園の種類

都市公園は、設置目的や機能、利用対象者等により、住区基幹公園、都市基幹公園、大規模公園などに大別される（表－2）。受益の観点から、市町は住区基幹公園及び都市基幹公園を、県は一つの市町の区域を超える広域レクリエーション需要に対応する大規模公園（広域公園）を整備している。

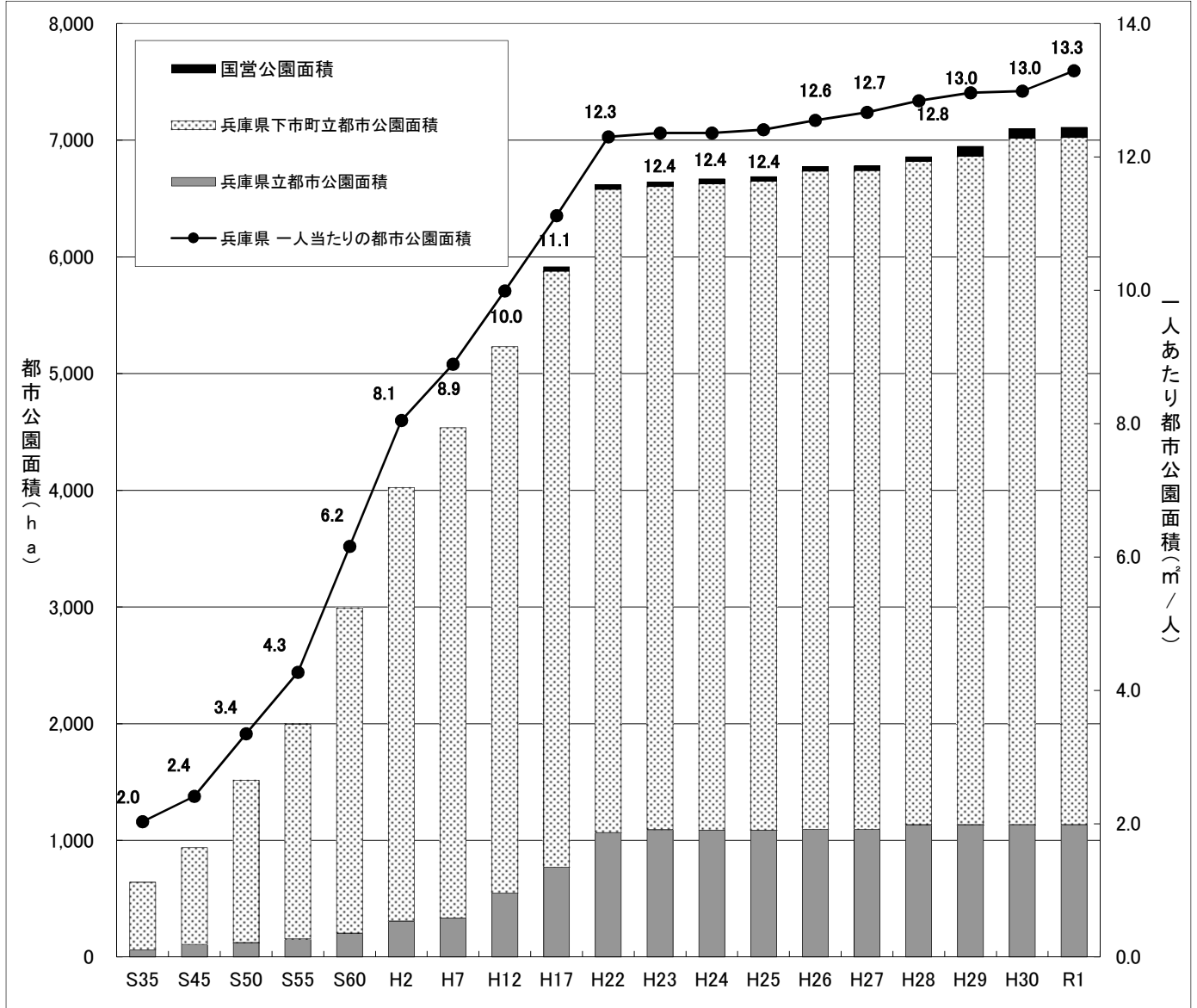
表－2 都市公園の種類

種類	種別	内 容	標準とする面積
住区基幹公園	街区公園	街区内に居住する者の利用に供する公園	0.25ha
	近隣公園	近隣に居住する者の利用に供する公園	2.0 ha
	地区公園	徒歩圏域内に居住する者の利用に供する公園	4.0 ha
	特定地区公園	都市計画区域外の一定の町村における生活環境改善のための公園	4.0 ha 以上
都市基幹公園	総合公園	都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等の総合的な利用に供する公園	10ha～50ha
	運動公園	都市住民全般の運動の用に供する公園	15ha～75ha
特殊公園		風致公園、動植物公園、歴史公園、墓園等の特殊な公園	――
大規模公園	広域公園	一の市町村の区域を超える広域の利用に供する公園	50ha 以上
	レクリエーション都市	大規模な都市公園を核として各種レクリエーション施設が配置される一団の地域	全体面積 1,000ha
緩衝緑地		公害又は災害を防止するための緩衝緑地としての公園	――
都市林		動植物の生息地又は生育地である樹林地等を保護するための公園	――
広場公園		市街地の中心部における休息又は鑑賞の用に供する公園	――
都市緑地		都市の自然的環境の保全及び改善、都市の景観の向上を図るための緑地	――
緑道		災害時における避難路の確保、都市生活の安全性及び快適性の確保等を図るために、近隣住区相互を連絡するように設けられる植樹帯及び歩行者路又は自転車路を主体とする緑地	――
国営公園		一の都府県の区域を超えるような広域の見地から国が設置する都市計画施設である公園又は緑地及び国家的な記念事業として又は我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため閣議の決定を経て国が設置する都市計画施設である公園又は緑地	300ha

(5) 兵庫県における都市公園の現況

令和元年度末現在、県内の都市公園は、箇所数が 6,096 箇所（全国 6 位）、面積が 7,110ha（全国 2 位）となっている。また、一人あたりの公園面積は 13.3 m²で、全国平均の 10.6 m²を上回っている（図－1）。

図－1 兵庫県における都市公園面積及び 1 人あたりの都市公園面積の推移



(6) 県立都市公園の整備状況

令和2年度末現在、県立都市公園は15公園1,136.5ha(全国3位)を開園しており、令和2年度の年間利用者数は1,033万人である(表-3)。

表-3 県立都市公園一覧

(令和3年4月1日現在)

種別		公園名	所在地	当初開園年月日	計画面積 (ha)	開園面積 (ha)	R2年度利用者数 (万人)
広域	1	明石公園	明石市	T7.4.15	54.8	54.8	195
	2	甲山森林公園	西宮市	S45.11.10	110.6	83.0	147.7
	3	播磨中央公園	加東市	S53.8.5	381.6	181.7	44
	4	淡路島公園	淡路市	S60.4.21	148.8	134.8	158
	5	赤穂海浜公園	赤穂市	S62.7.25	71.7	71.7	34
	6	一庫公園	川西市	H10.7.29	116.1	48.2	25
	7	有馬富士公園	三田市	H13.4.29	359.8	178.2	77
	8	三木総合防災公園	三木市	H17.8.6	202.5	202.2	89
	9	丹波並木道中央公園	丹波篠山市	H19.10.14	70.9	70.9	18
	広域公園計					1,516.8	1,025.5
運動	10	淡路佐野運動公園	淡路市	H15.5.3	29.5	29.5	14
地区	11	西猪名公園	伊丹市 川西市	S57.4.8	6.0	6.0	25
風致	12	舞子公園	神戸市	M33.7.25	7.8	7.8	147
都市緑地	13	灘山緑地	淡路市	H12.3.18	11.3	11.3	8
	14	尼崎の森中央緑地	尼崎市	H18.5.31	18.9	18.9	50
	15	あわじ石の寝屋緑地	淡路市	H27.4.1	75.4	37.5	1.8
	都市緑地計					105.6	67.7
合計					1,665.7	1,136.5	1033.5

ア 開園面積

平成3年度から開始した「県立公園4倍増計画」や阪神淡路大震災後の復興事業等により県立都市公園の整備が大幅に進み、明石海峡大橋の開通に合わせて平成10年度に淡路島公園等を追加開園したほか、それ以降も一庫公園や有馬富士公園等の大規模公園を新規開園するとともに、震災後に計画された三木総合防災公園や尼崎の森中央緑地等を平成17年度から18年度にかけて新規開園したこと等により、平成22年度末時点での開園面積は、1067.9haとなった。

その後、平成23年度に4公園（神陵台緑地、明石西公園、西武庫公園、北播磨余暇村公園の計28.6ha）を県から市町に移譲したことにより、一旦は開園面積が減少したものの、平成27年度にあわじ石の寝屋緑地を新規開園したこと等により、平成22年度末時点で308.4haであった県立都市公園の開園面積は、令和2年度末時点では、その約3.7倍に当たる1,136.5haに達している。

イ 利用者数

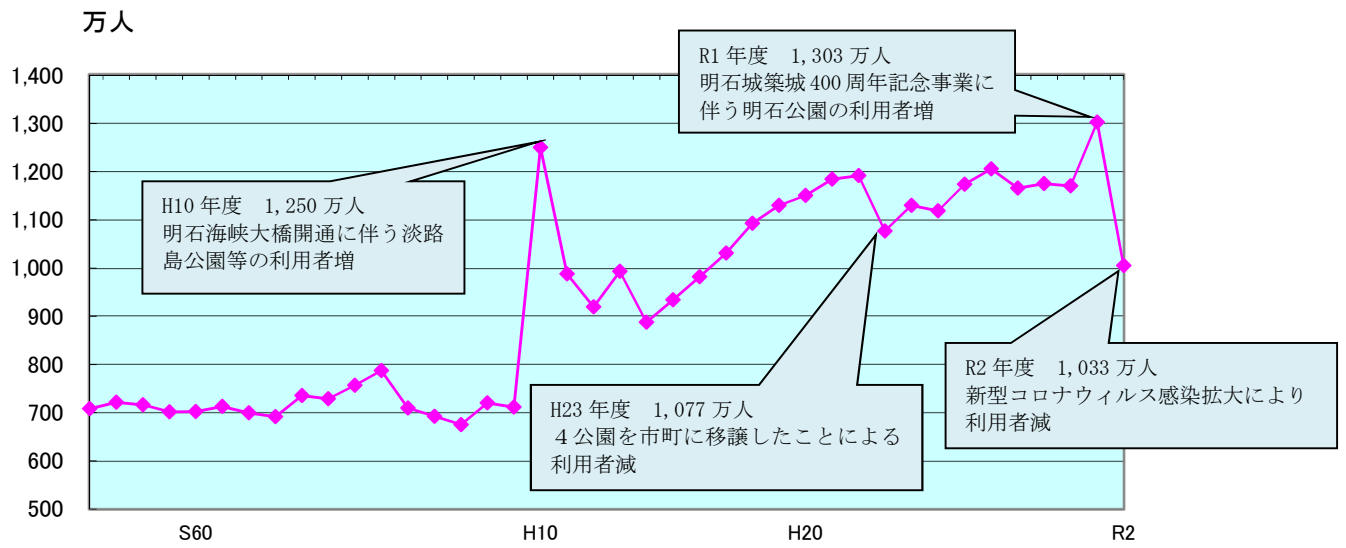
平成9年度までの年間利用者数は700万人前後で推移していたが、明石海峡大橋の開通に合わせて平成10年度に追加開園した淡路島公園ハイウェイオアシス等での一時的な利用者増により、平成10年度の利用者数は1,250万人に達した。

その後、利用者数は一旦減少したものの、有馬富士公園や淡路佐野運動公園、三木総合防災公園、尼崎の森中央緑地等の芝生広場やスポーツ施設等を有する公園の新規開園等に伴い、一般利用のほか、イベントやスポーツ大会等が多く開催されるようになったことで、平成17年度以降は、年間利用者数が1,000万人を超える状況が続いている。

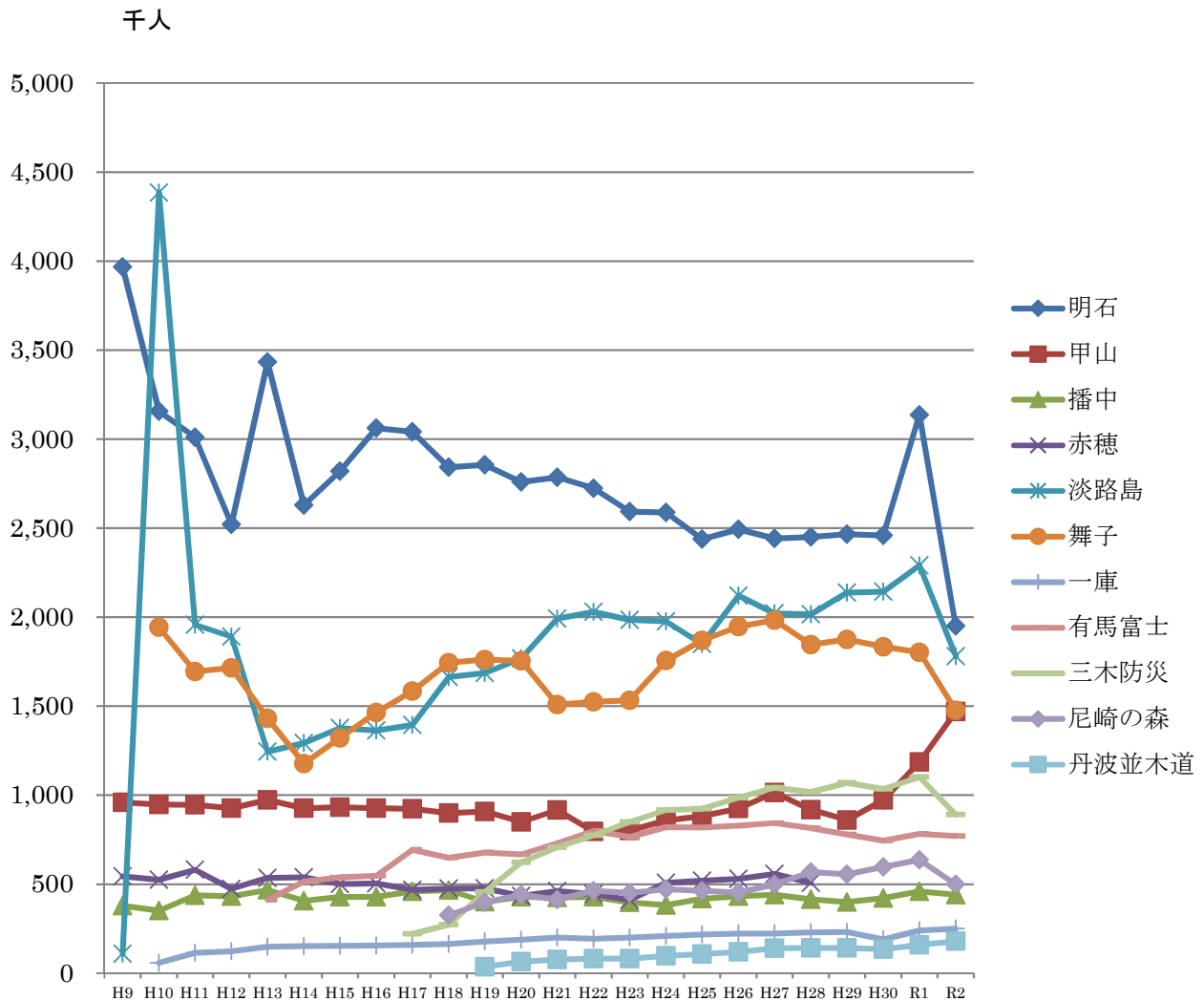
また、令和元年度は、明石城築城400周年記念事業による明石公園の利用者数の大幅増等に伴い、利用者数は過去最高の1,303万人に達した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、利用者数は1,033万人となったが、遊具が設置されている公園を利用する親子等が来園され、コロナ禍でも公園で体を動かしたり、リフレッシュされる方の利用は維持できている状況。

図－2 県立都市公園の利用者数の推移



図－3 県立都市公園の公園別利用者数の推移



Topic

コロナ禍における県立都市公園の利用分散～兵庫県独自の取組～

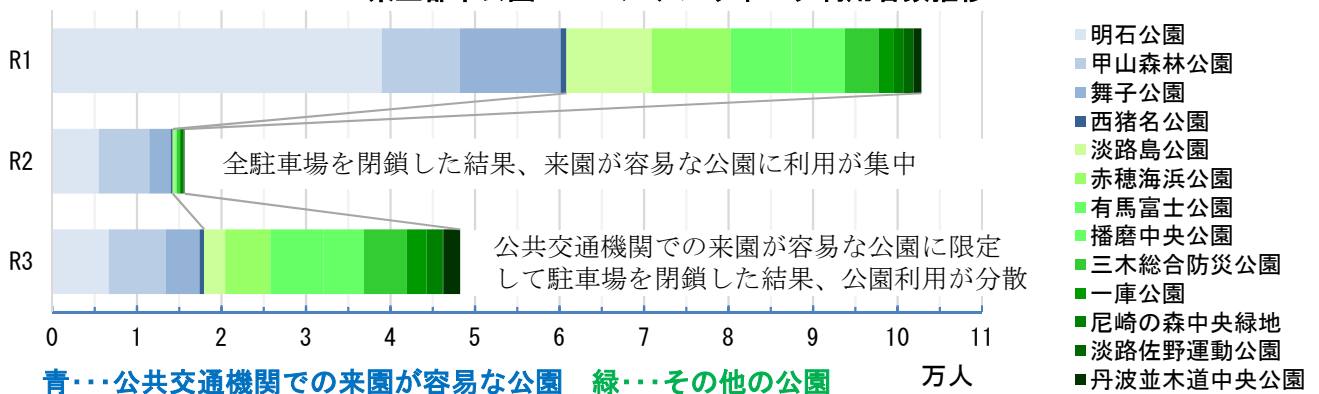
県立都市公園は、散歩や運動など県民の健康的な生活を支える貴重な空間として、コロナ禍において改めてその重要性に注目が集まっている。

令和2年度のゴールデンウィークは、緊急事態宣言にあわせて全国的に公園駐車場や運動施設の一律閉鎖が行われた結果、公共交通機関や徒歩で来園可能な公園に人が集中し、街区公園では「子どもが公園で遊んでいる」という通報が頻発するなどのトラブルが報道された。そこで、令和3年度においては、兵庫県独自の施策として、公共交通機関を利用した来園が容易な公園を除き、駐車場や運動施設を閉鎖せず、都市公園を最大限活用する対応を行った。

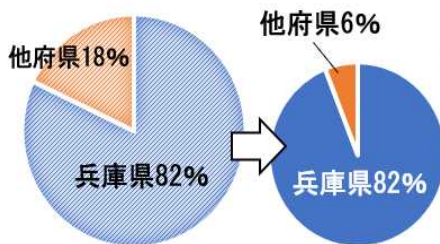
これらの取り組みの成果として、県立都市公園全体の利用者数は減少したが、利用分散化が図られた。また、県内利用者の割合が増加し、県境を越えた移動が抑制された。

なお、緊急事態宣言直後(令和3年4月)の県立都市公園での人口密度は100㎡あたり0.36人であり、密集が報道される東京の公園に比較して1割程度にすぎなかった。

県立都市公園 ゴールデンウィーク利用者数推移



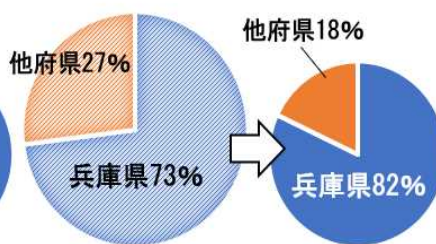
甲山森林公園



R1: 4,431人

R3: 2,900人

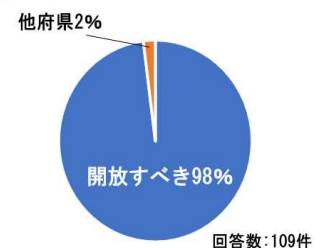
有馬富士公園



R1: 7,545

R3: 4,954人

有馬富士公園来場者アンケート調査 (緊急事態宣言中の公園開放について)



データ提供: KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」
 ※2019年または2021年の5/1～5/5の期間に各公園の15分以上滞在者を抽出
 ※携帯電話の位置情報データを拡大推計した値であり、各公園管理事務所等が把握する利用者数値とは一致しない。

主な意見

- ・非常にありがたいです
- ・子供が遊べて助かります
- ・密にならない広大な場所を開放していただき大変ありがたいです
- ・子供の遊び場は制限しないでほしい

2 県立都市公園の管理運営の取組

(1) 管理運営の方針

少子高齢化の進行や人口減少社会の本格的到来、防災や環境への意識の高まり、さらに地域創生など、県立都市公園を取り巻く社会状況が大きく変化したことを受け、県立都市公園が県民共有の資産としてより一層の効果を発現するよう、平成28年6月に「兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画」を策定した。この計画に基づき、県立都市公園の整備・管理運営を進めている。

「兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画」の概要

(1) 基本計画の位置づけ

県立都市公園の今後の役割や方向性を明らかにし、中長期的視点で整備・管理運営の目標、方針及び推進施策などを示す。

(2) 計画期間 平成28年～令和7年（10年間）

(3) 基本方針 「ふるさと兵庫」のゆたかな暮らしを支える「公園づくり」に取り組む

(4) 推進施策 5つのテーマの下、18の推進施策を設定

テーマⅠ 活力あふれる地域づくりに資する公園（地域の活力・賑わい・元気で健康な生活）

- 施策方針①：地域の活性化をもたらす公園づくり
 ②：地域文化の保全・継承、新たな芸術文化を創造する公園づくり
 ③：元気で健康的な生活に資する公園づくり

テーマⅡ 子育てに資する公園（子育て支援）

- 施策方針④：子育て世代を支援する公園づくり
 ⑤：子どもを育む公園づくり
 ⑥：3世代が楽しめる公園づくり

テーマⅢ 環境との共生に資する公園（環境保全・創造への対応）

- 施策方針⑦：自然環境等を守り・生かす公園づくり
 ⑧：環境との共生を学ぶ場としての利活用

テーマⅣ 安全安心な地域づくりに資する公園（安全安心への対応）

- 施策方針⑨：安全な暮らしを支える防災拠点としての利活用
 ⑩：安心地域づくりに役立つ公園づくり
 ⑪：誰もが楽しく安心して利用できる公園づくり

テーマⅤ 持続可能なパークマネジメントの推進（連携とマネジメントシステム等）

- 施策方針⑫：効率的な老朽化対策の計画的な推進
 ⑬：社会変化を踏まえたリノベーション等の推進
 ⑭：施設間連携、民間活力等の連携による効率的・効果的な事業推進
 ⑮：より良いサービスを提供する管理運営体制等の工夫
 ⑯：県民の参画と協働の活動を推進する仕組みの工夫
 ⑰：効果的な広報の推進
 ⑱：公園づくりの評価等の推進



テーマⅠ
デビスカップの開催
（三木総合防災公園）



テーマⅡ
あそびの王国
（有馬富士公園）



テーマⅢ
環境学習の場
（尼崎の森中央緑地）



テーマⅣ
交通安全防災フェスタ
（赤穂海浜公園）



テーマⅤ
ネミングライツ収入を活用したドライミスト
（明石公園）

(2) 参画と協働の取組

県民の参画と協働による利活用の推進を目的として、有馬富士公園をはじめ 10 公園で、地域住民や学識経験者等で構成する管理運営協議会を設置し、自主企画運営によるイベントなどを開催している。

【管理運営協議会を設置している公園】

舞子公園、甲山森林公園、一庫公園、有馬富士公園、播磨中央公園、赤穂海浜公園、丹波並木道中央公園、淡路佐野運動公園、淡路島公園、あわじ石の寝屋緑地

(3) 指定管理者制度

ア 基本的な考え方

平成 15 年の地方自治法の一部改正を受け、平成 18 年度から、全ての県立都市公園に指定管理者制度を導入し、一層のサービスの向上と業務の効率化を図っている（表-4）。

イ 選定方法

民間事業者のノウハウの活用による効率的で質の高い管理運営を目指すため、指定管理者は、①管理運営にあたり高度な専門的知識の蓄積・活用等が必要とされる公園※（明石公園、三木総合防災公園）や、②隣接施設との一体的な管理運営により効果的な管理運営が図られる公園（淡路島公園ハウェイアシズゾーン、灘山緑地）などを除き、すべて公募により選定している。

※明石公園：国重要文化財指定の櫓や、石垣、土塁、堀等、明石城址特有の施設の維持・保存手法に関する知識や経験の蓄積が必要

※三木総合防災公園：広域防災拠点として、災害時の緊急対応のため県との連携が必要なほか、平時における防災資機材や備蓄食料の適切な保管・配送、メンテナンスに関する知識や経験の蓄積が必要

ウ 制度導入による効果

指定管理制度導入により指定管理者のノウハウを活用した効率的な管理運営の実施に加え、行財政改革による事業経費の見直し等を実施した。その結果、指定管理制度導入前の平成 17 年度に供用を開始していた公園の維持管理費 12.3 億円が直近の公募結果では約 46.3%減の 6.5 億円（利用料含む）となった。また、公園の特徴を生かしたマラソン・トライアスロン大会の開催や、幅広い世代で注目されているパークヨガ等の利用促進事業が実施され、来園者が増加している。

エ 外部評価の取組

指定管理者の業務の改善や公園利用者へのサービス向上をより一層推進するために、公募により指定管理者を選定した公園について、指定管理期間の最終年度に外部有識者等からなる委員会において管理運営状況の評価を行っている。

表－４ 指定管理の状況

公園名	指定管理者	指定期間(年度)
明石公園	(公財)兵庫県園芸・公園協会	R3～R5
甲山森林公園	パークマネジメント甲山	H29～R3
播磨中央公園	(公財)兵庫県園芸・公園協会	R2～R6
淡路島公園(ハイウェイアスゾーンを除く)	(公財)兵庫県園芸・公園協会	R1～R3
淡路島公園(ハイウェイアスゾーン)	(株)夢舞台	R3～R5
赤穂海浜公園	(公財)兵庫県園芸・公園協会	R2～R6
一庫公園	(公財)兵庫県園芸・公園協会	R3～R7
有馬富士公園	(公財)兵庫県園芸・公園協会	R3～R7
三木総合防災公園	(公財)兵庫県園芸・公園協会	R3～R5
丹波並木道中央公園	兵庫丹波の森協会・兵庫県園芸・公園協会共同事業体	R3～R7
淡路佐野運動公園	兵庫県園芸・公園協会・ミズノ共同体	H30～R4
西猪名公園	兵庫県園芸・公園協会・ミズノ共同体	R2～R6
舞子公園(移情閣を除く)	(公財)兵庫県園芸・公園協会	R2～R6
舞子公園移情閣	(公財)孫中山記念会	R2～R6
灘山緑地	(株)夢舞台	R3～R5
あわじ石の寝屋緑地	(公財)兵庫県園芸・公園協会	R1～R3
尼崎の森中央緑地	兵協・尼協・阪神共同体	R3～R7
尼崎の森中央緑地(スポーツ健康増進施設)	あまがさき健康の森(株)	H18～R4

※ 網掛けは、公募公園

Topic

駐車料金見直し等による公園利用促進効果

1 駐車料金の見直しによる舞子公園の利用促進

コロナ禍において、開放的な環境のもとで様々な活動を楽しむことのできる公園の果たす役割が改めて評価されている。そこで、長時間利用による利便性向上や駐車場の利用促進を図るため、駐車場の利用料金に1回につき最大1,000円(大型自動車は4,000円)の上限額を設け、令和3年8月より施行した。これまでのところ利用者が1.3倍増加している。

《駐車場利用台数》

(雨の日を除いた1日平均駐車台数)

時期	R3. 8	R3. 7	R2. 8
駐車台数	① 186. 8	② 145. 0	③ 177. 1
対比		①/② 1. 29	①/③ 1. 05

2 【社会実験】赤穂海浜公園における駐車場平日無料化

赤穂海浜公園の利用促進を図るため、7月21日から9月30日の間、平日に限り、駐車料金を無料化する実験を行っている。これまでのところ、駐車台数が令和元年同期に比較して1.5倍となっているほか、平日は1.8倍となるなど、土日休日に偏っていた利用者が、平日に分散化している。

	普通車	R1(台/日)	R3(台/日)	対比(R3/R1)
平日		91. 5	165. 2	1. 81
土日休日		303. 3	386. 9	1. 28
全体		165. 7	248. 3	1. 50

【調査】 7/21～8/31

(4) ネーミングライツの導入

平成 20 年度より公園施設へのネーミングライツを募集しており、現在、県では、5 つの公園施設において導入している（表－5）。

この収入額の 1 / 2 は、施設の利用促進を目的とした国際大会の誘致や、施設の機能向上に充てている。

表－5 ネーミングライツ導入状況（指定管理者が収益事業として実施しているものを除く）

対象施設（愛称）	スポンサー	現契約 期 間	ネーミングライツ料 (年額、税抜)	導入時期
三木総合防災公園 屋内テニス場 (ブルボンビーナスドーム)	(株)ブルボン	R3. 4～R6. 3	1,000 万円	H20. 12. 1～
三木総合防災公園 球技場 (兵庫県サッカー協会フットボール センター（呼称：みきぼうパーク ひょうご）)	(一社)兵庫県 サッカー協会	R3. 4～R6. 3	400 万円	H23. 4. 1～
明石公園 第1野球場 (明石トーカロ球場)	トーカロ(株)	R3. 4～R8. 3	400 万円	H23. 7. 1～
明石公園 陸上競技場 (きしろスタジアム)	(株)きしろ	R3. 4～R6. 3	R3:100 万円 R4:200 万円 R5:200 万円	H27. 7. 1～ (H30. 4. 1～愛称・ スポンサー変更)
明石公園 テニスコート (NDK来夢・嬉しの森テニスコ ート)	中西電機工 業(株)	H30. 4～R5. 3	120 万円	H30. 4. 1～

(5) 広告掲載事業の実施

平成 22 年度から、指定管理者が淡路佐野運動公園第1野球場、明石公園第1野球場（明石トーカロ球場）など4施設で広告を獲得している。

この収入額の 1 / 2 は、広告を獲得した指定管理者の収入となり（契約更新時に県収入に変更することで県財政の軽減）、1 / 4 を指定管理料に上乗せすることで、球場の芝刈り回数の増加など施設管理水準の向上に充てている。



淡路佐野運動公園第1野球場外野フェンス

【広告料収入の実績】 令和 2 年度：4,232 千円（全 34 区画）

指定管理者収入（契約更新時まで）	指定管理料上乗せ	県収入
← 1 / 2 →	← 1 / 4 →	← 1 / 4 →

Topic

アニメパークによる淡路島公園活性化の取組

1 経緯

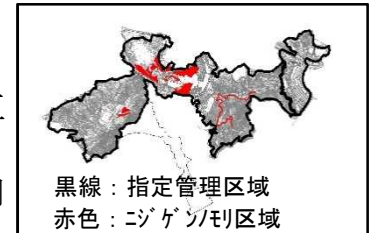
平成 25 年度、来園者増加と地域の活性化を目指し、民間事業者を活用するべく企画提案コンペを実施した。(株)パソナグループの「淡路マンガ・アニメアイランド事業」が採択され、平成 29 年 7 月、アニメパーク「ニジゲンノモリ」がオープンした。

〔※ニジゲンノモリ：漫画・アニメ・ゲーム（2次元コンテンツ）を自然の中で体験できる場所〕
という意味で(株)パソナグループが考案した造語。

2 施設の概要

ニジゲンノモリには、体験型アトラクションが整備されている。主な施設として、①「クレヨンしんちゃん」をテーマに、巨大アスレチックや池の上を滑空するジップライン、②手塚治虫「火の鳥」を題材に、CG映像等を楽しみながら園内 1.2km を周遊するナイトウォーク、③忍術修行を体感できるアクティビティと立体迷路で構成される「NARUTO&BORUTO 忍里(ナル アト ホルト シビザト)」、④等身大ゴジラの強大さと迫力を体感し、ジップライン等が楽しめる「ゴジラ迎撃作戦」、⑤ゲーム「ドラゴンクエスト」の世界をリアルとデジタルにより表現した RPG アトラクション「ドラゴンクエストアイランド」があり、いずれも日本のアニメやキャラクターを題材としている。

また、レストラン「モリノテラス」や、グランピング施設「GRAND CHARIOT (グランシャリオ) 北斗七星 135°」では、淡路島産の食材にこだわった創作料理が提供されている。



淡路島公園全体図



グランピング施設
「GRAND CHARIOT 北斗七星 135°」



クレヨンしんちゃん
「アッパレ! 戦国大冒険」



「ナイトウォーク 火の鳥」



レストラン
「モリノテラス」



「NARUTO&BORUTO 忍里」

3 取組の効果

(1) 淡路島公園（ハイウェイオアシスゾーン除く）の来園者はニジゲンノモリの開園前と比べて2倍に増加

(H28 年度 330 千人、R2 年度 681 千人)

(2) ニジゲンノモリからの使用料収入が、公園維持管理を委託する指定管理者への支出(指定管理料)を上回り、黒字化

(R2 使用料収入 97 百万円、R2 指定管理料 71 百万円)

(3) ニジゲンノモリにより社員 215 名(正規 17 名、非正規 10 名、アルバイト 188 名)の雇用創出。



「ゴジラ迎撃作戦」



4 今後の予定

コロナ禍による集客状況を注視しつつ、コロナ後を見据えた施設「ドラゴンクエストアイランド」の増設等についてニジゲンノモリと協議を進める。

Topic

淡路花博 20 周年記念 花みどりフェアの開催

国際園芸・造園博「ジャパンフローラ 2000」がめざした自然再生の理念を継承するとともに、食や自然、歴史・文化など淡路島の魅力を発信する「花みどりフェア」を、割引クーポンを通年利用可能とすることで、令和3年の春と秋の2シーズンに分散し、感染症対策を徹底した上で開催する。メイン会場も分散させ、屋外施設を中心に自然と親しむことを基調とするウイズコロナ・ポストコロナ時代の新しい生活様式を踏まえたイベントも実施する。



花みどりフェアロゴ

〔花みどりフェアの概要〕

- 1 事業名 淡路花博 20 周年記念 花みどりフェア
- 2 テーマ みなとつながる「花 緑 食の島」淡路
- 3 主催 淡路花博 20 周年記念事業実行委員会
(近畿地方整備局、県、淡路島内3市、造園・商工・観光・交通関係団体等 全78団体)
- 4 会期 春期 令和3年3月20日(土)～5月30日(日)72日間
秋期 令和3年9月18日(土)～10月31日(日)44日間
- 5 会場 メイン会場 淡路夢舞台・淡路島国営明石海峡公園、洲本市中心市街地エリア、淡路ファームパーク・イングランドの丘エリア
サテライト会場 島内観光施設等

6 春期フェア開催の結果

期間中の全会場の来場者数は、感染症による移動自粛や天候不順等の影響で、189万人にとどまり、目標の300万人には達しなかった。

しかし、コロナ禍にあっても、兵庫県民にとって開放的な環境の下で、散策などの健康的な生活に欠かさない活動やレクリエーションを楽しめる貴重なオープンスペースを提供することが出来た。

一方、来場者アンケートでは88%の方に満足いただき、満足した理由として「開放的な空間を楽しめた」等の意見が多くあり、また、今回の花みどりフェアへの来場をきっかけに、淡路島にもう一度来たいという意見が96%あり、コロナ禍での県民の健康的な生活を支える場として貴重な空間を提供した。

さらに、コロナ禍でのフェアの開催は問題ないとの意見が99%、コロナ禍では開催すべきでないとの意見が1%あった。

《来場者数》

累計 1,885 千人 (目標 : 3,000 千人)



春のカーニバル



ダンボールアート展



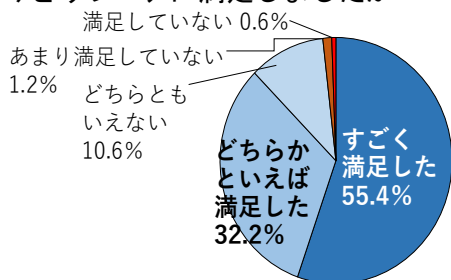
村雨辰剛の庭「国生みの庭」

来場者アンケート結果

回答者数 728 名 調査場所: 国営明石海峡公園、淡路夢舞台、淡路ファームパーク・イングランドの丘

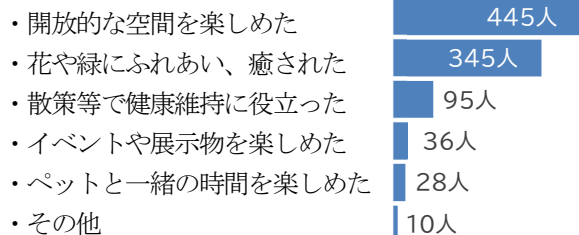
① 87.6%の来場者がフェアに満足

Q 花みどりフェアに満足しましたか



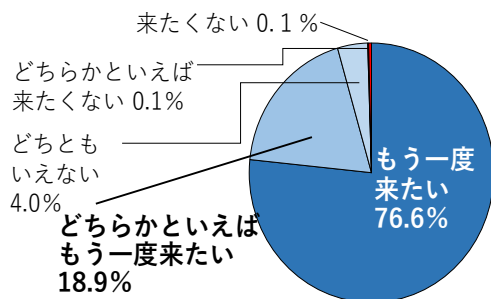
② 満足した理由は「開放的な空間を楽しめた」等が多数

Q 満足した理由は?



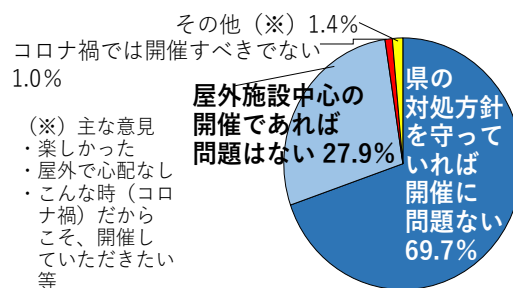
③ 「淡路島にもう一度来たい」と答えた方が95.5%

Q フェアをきっかけに淡路島にもう一度来たいと思いましたか



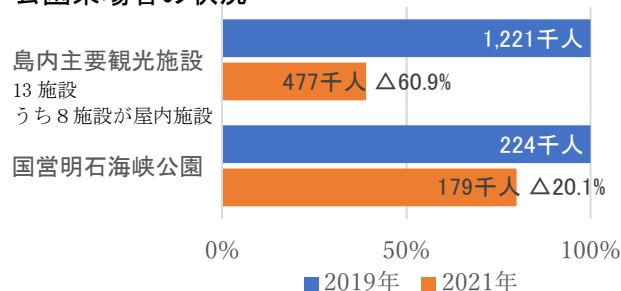
④ 「コロナ禍でのフェア開催は問題ない」と答えた方が99.0%

Q コロナ禍でのフェアの開催をどのように感じますか



⑤ 屋内施設よりも開放的な環境の下で楽しめる屋外施設が人気

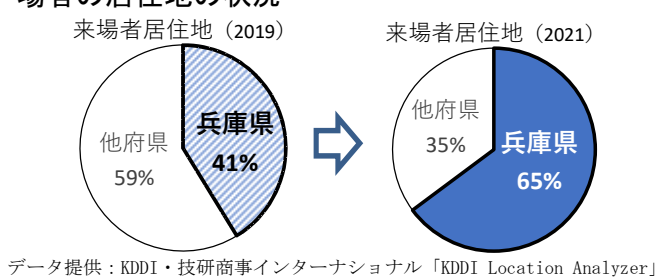
島内主要観光施設入込客数と国営明石海峡公園来場者の状況



※島内主要観光施設の入込客数をコロナ禍前(2019年)と比較した結果、60.9%減に対し公園来場者数は20.1%減に留まった。

⑥ コロナ禍で県境を越える移動が減少し、県内からの来場者の割合が増加

国営明石海峡公園のGW期間中(5/1~5/5)の来場者の居住地の状況



※来場者の居住地を携帯電話の位置情報から調査の結果、2019年より県内からの来場者の割合が24ポイント増加

7 秋期フェアの主な行催事・展示

淡路会場: 国営明石海峡公園秋のカーニバル、無料海上アクセスなど

洲本会場: LEDフラワー×デジタル掛け軸等夜の演出、假屋崎省吾 花 TSUMUGU2021 など

南あわじ会場: 淡路人形浄瑠璃特別公演、みんなで凧を飛ばそう! など



無料海上アクセス

LED フラワー
 ×デジタル掛け軸

3 県立都市公園のリノベーション

(1) 施設老朽化への対応

県立都市公園では公園リノベーション計画に基づき、老朽化した公園施設の更新等に取り組むことにより、公園の利用者の安全確保や質の向上を図る。

老朽化の状況



明石公園

2年にわたり使用禁止の滑り台



有馬富士公園

1年以上にわたり通行禁止の木道



赤穂海浜公園

塩害により劣化した柵



明石公園

生い茂った樹木による景観阻害



播磨中央公園

老朽化した和式トイレ



一庫公園

老朽化した遊具

改修の状況



明石公園

樹木伐採による景観向上



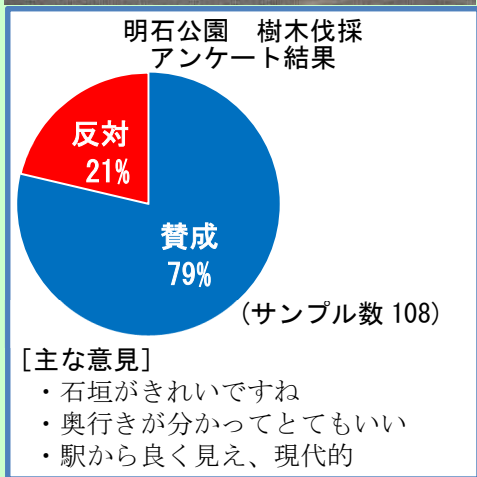
播磨中央公園

リニューアルされたトイレ



一庫公園

リニューアルされた遊具



播磨中央公園
トイレ更新による効果

令和3年4月更新
利用者数が1.7倍に増加
(令和3年6・7月/令和元年6・7月)

一庫公園
遊具更新による効果

令和3年4月更新
来園者数が1.2倍に増加
(令和3年5月/令和元年5月)



丹波並木道中央公園

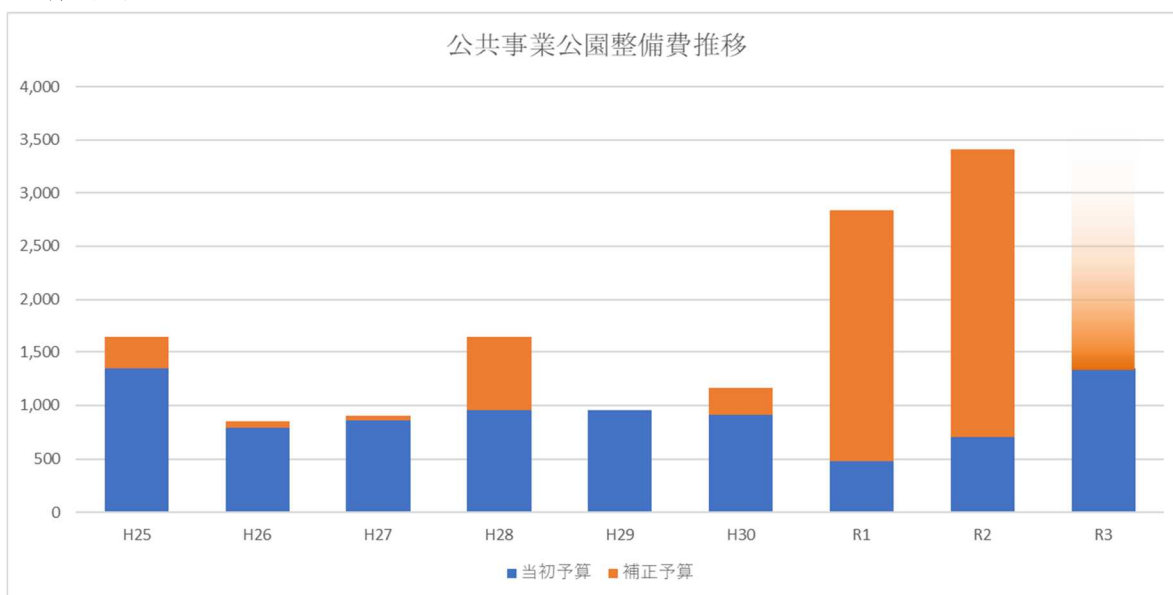
動く恐竜模型の設置

丹波並木道公園
動く恐竜模型の設置による効果

令和3年7月設置
来園者数が2.4倍に増加
(令和3年7月10日(土)・11日(日)
/令和2年7月11日(土)・12日(日))

図一 4 公共事業公園整備費推移

単位：百万円



表一 6 老朽化対策状況 (R3. 8. 31時点)

区分	トイレ改修		遊具更新	
	設計完了 (棟)	工事完了 (棟)	設計完了 (基)	工事完了 (基)
舞子公園	0/5	0/5	2/2	2/2
尼崎の森中央緑地	0/1	0/1	—	—
甲山森林公園	0/8	0/8	0/14	0/14
西猪名公園	6/6	2/6	—	—
一庫公園	3/4	0/4	4/4	4/4
有馬富士公園	0/9	0/9	5/5	2/5
明石公園	5/19	5/19	1/3	1/3
播磨中央公園	17/23	8/23	11/11	1/11
三木総合防災公園	0/12	0/12	1/1	0/1
赤穂海浜公園	0/18	0/18	21/21	21/21
丹波並木道中央公園	0/7	0/7	—	—
淡路島公園	15/15	4/15	4/4	0/4
淡路佐野運動公園	0/5	0/5	—	—
計	46/132	19/132	49/65	31/65

(2) 都市公園のリノベーション

老朽化した施設を単に改修するだけでは、利用者のニーズに応えられない公園については、質の向上による利用者増を図るため、令和2年度に策定した「リノベーション計画」に基づき、公園施設の更新や機能強化等に取り組む。

[リノベーションの方向性（主要公園）]

ア 有馬富士公園

風など自然の力で動く彫刻で世界的に著名な新宮晋氏が提唱する体験型施設「地球アトリエ」を整備する。「地球アトリエ」では、来園者が五感を使って自然や芸術に触れ、楽しむことができる。

■地球アトリエ整備

《施設概要》

アートセンター（アート作品展示及び体験型施設）、アトリエ（アート作品制作等体験型施設）、レストラン、劇場、園地等

《スケジュール》

- R3 基本設計・実施設計
- R3～R5 第1期施設整備工事
(アートセンター、アトリエ、園地等)
- R6 春 第1期供用開始



地球アトリエ施設イメージ

イ 播磨中央公園

既存園路の改修により、都市公園では全国最大規模の自転車専用コースを整備する（全長7.2km、幅員6.0m）。

また、オリンピック競技に採用され、若者に人気があるスケートボードやBMX、MTBが1箇所ですべて楽しめ、国際大会も開催可能な日本有数の施設を整備し、北播磨地域への若者の呼び込みやスポーツ移住などの地域振興に貢献する。

■園路整備

《施設概要》

自転車専用コース（全長7.2km）、遊歩道等

《スケジュール》

- R3 実施設計
- R3～R4 園路改修工事
(R4.3 一部供用開始により全日本実業団サイクルロードレース大会を開催予定)
- R5 春 全面供用開始



サイクルロードイメージ

■ ローラースポーツパーク（仮称）整備

《施設概要》

ストリート・パーク（スケートボード、BMX）

フラットランド（BMX）、レースコース（BMX）

クロスカンントリーコース（MTB）

パンプトラック（スケートボード、BMX、インラインスケート）

《スケジュール》

R3 実施設計

R4～R6 施設整備工事

R7 春 供用開始

図-5 ローラースポーツパーク 計画



ウ 明石公園

スポーツと自然環境を生かした健康づくり及び文化財を生かした観光振興の拠点とするために、第1野球場等の運動施設のリニューアルを行うとともに、明石城跡の更なる利活用と櫓等の復元的整備を行う。

また、大規模アリーナの整備は、将来、県内にどのようなスポーツ・集客施設が必要となるかなど論点を整理し、慎重に整備の可能性を検討する。

■第1野球場

《整備概要》

内外装・スコアボード・防球ネットの更新
観客席・トイレのリニューアル等

《スケジュール》

R3 基本設計・実施設計

R4～R6 施設整備工事



観客席（現況）



観客席リニューアル（イメージ）

■史跡明石城跡の復元的整備等

2019年に築城400周年を迎えた明石城跡を核に、城跡の樹木伐採、櫓・大手門等の復元的整備、石垣ライトアップ等を実施することで歴史資産としての価値をさらに高め、県民から愛される公園を目指す。



ライトアップ（櫓南側）

エ その他公園

○丹波並木道中央公園：恐竜遊具、サイクルステーションの整備（R3）



恐竜遊具（イメージ）



サイクルステーション（完成予想図）

4 国営明石海峡公園 [事業主体] 国土交通省近畿地方整備局 (国営明石海峡公園事務所)

(1) 整備の概要

国営明石海峡公園は、「自然と人との共生、人と人との交流」を基本テーマとした近畿圏の大規模公園で、明石海峡を挟んで淡路地区と神戸地区で構成されている(図-6)。

淡路地区は、「海辺の園遊空間」をコンセプトに、大規模な土取り場跡地の自然を回復し、国際的でリゾート感あふれる海辺の園遊空間となる公園として整備が進められている。また、海岸ゾーンでは全国の国営公園で初のPark-PFIにより、海辺の展望を活かした「食と健康」をテーマとした温浴施設・プールやカフェ、地元食材を活かしたレストラン等が民間事業者により整備される予定である。

神戸地区は、土地の歴史・文化を含めた自然環境を保全し、大都市近郊で里地里山文化を体験できる公園として整備が進められている。

図-6 全体位置図



Park-PFI 温浴施設・プール(イメージ)

表-7 全体計画

	計画面積	開園面積	当初開園日	事業費(百万円)		
				全体	H5~R2	R3
淡路地区	96.1ha	40.4ha	H14.3.21	45,200	39,300	552
神戸地区	233.9ha	46.2ha	H28.5.28	50,600	44,422	211
計	330.0ha	86.6ha		95,800	83,722	763

(2) 令和3年度の整備内容

- ア 淡路地区 海岸ゾーン シースケープ・フィールドエリア施設整備
(トイレ・ゲート棟建築工事/園路整備)
- イ 神戸地区 棚田ゾーン 茅葺屋根防火対策、法面安全対策

表-8 利用者数の状況

(単位:万人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
淡路地区	38	47	39	54	84	49	51	47	50	27
神戸地区	-	-	-	-	-	4	4	4	5	3

(3) 管理運営の概要

国営明石海峡公園は、令和2年2月1日~令和6年1月31日の4年間、(公財)兵庫県園芸・公園協会と(公財)神戸市公園緑化協会、(一社)兵庫県造園建設業協会、(一社)神戸市造園協力会の共同体が管理運営しており、淡路地区と神戸地区を連携させた一体的な広報や魅力的なイベントの開催を行っている。

5 県立淡路景観園芸学校

全国初の「景観園芸」に関する教育研究機関として、平成11年4月に開校。花と緑によるゆとりや潤いのある美しい環境を創造する緑や自然を活かした地域づくりを担う人材を輩出し、景観園芸に関する知識・技術を蓄積、普及を図り、人と自然が共生する安全かつ快適なまちづくりと自然と調和した県土作りに寄与している



(1) 教育の内容

ア 人材養成

景観園芸専門課程(兵庫県立大学大学院・緑環境景観マネジメント研究科)や園芸療法課程、景観園芸専門研修を設け、花と緑への精通、人のこころを豊かにする空間のデザインや快適な環境の創造、花と緑の健康増進への活用を担う人材を養成している。(表-9)

表-9 各課程・研修の内容

	景観園芸専門課程	園芸療法課程	景観園芸専門研修
入学資格	大学卒業 (新卒者、社会人)	大学卒業、園芸・造園関連の短大・専門学校卒業、医療・福祉関連国家資格取得者	社会人、大学院生
定員期間	20人 2年間(全寮制)	全寮制 15人 1年間 通学制 10人 2年間	5人 1年間(1月～)
修了生数	380人	240人	101人
進路動向	公務員 93人、外郭団体・園芸関係企業 85人、造園等建設業 82人、造園等コンサルタント 55人、資材メーカー 13人、進学・留学等 52人	公務員 18人、医療施設 42人、高齢者福祉施設 65人、サービス業 36人、障害者施設 14人、造園・園芸関係 13人、進学・自営等 52人	研修後は、在籍する企業や大学等で景観園芸の専門家として活躍

イ 生涯学習(まちづくりガーデナーコース)

広く県民を対象に講義や実技体験を通して、積極的に地域づくりに参加し、こころを育むための多彩なプログラムを実施している。修了生は、ボランティアリーダーとして地域で花と緑のまちづくり・地域づくり活動を先導しているほか、NPO法人アルファグリーンネットの会員として、普及活動や調査研究活動に取り組んでいる。(表-10)



本科コースでの植え付け作業

表-10 まちづくりガーデナーコースの内容

	本科コース	マスターコース	テーマコース
内容	基礎的・実地的な知識や技術の習得	より専門的な知識・技能の習得	特定のテーマに特化し、より深く習得
定員期間	40人 前期 15日 40人 後期 15日	40人 前期 15日 40人 後期 15日	10~20人 延べ1日~4日
修了生数	2,732人	195人	2,601人

(2) 園芸療法定着促進事業

園芸療法の普及と定着を進めるため、県内の医療・福祉施設へ兵庫県園芸療法士を派遣する「園芸療法定着促進事業」や、東日本大震災の被災地で園芸療法プログラム体験などの支援を実施している。

施設入所者の生活の活性化や、実施施設での園芸療法士雇用など、園芸療法の普及や活躍の場の確保に寄与している。

また、園芸療法によるリラックス効果など感情の変化をデータから可視化する研究が新聞に掲載された。その中で、コロナ禍でのストレスの高まりによる園芸療法の需要の広がりや、本校による園芸療法の取り組みが紹介された。



神戸新聞記事
R3. 7. 30(夕) 1面

(3) 国際交流事業

ア ランドスケープの新潮流セミナー

世界との交流、地域と協働する学校を標榜し、米国ワシントン大学教授など、国内外の第一線で活躍する講師を招きセミナーを開催している。(表-11)

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、「コロナ禍におけるランドスケープや公園利用のあり方」を主題にwebセミナーを開催し、スイスやスウェーデン、アメリカ、タイ、オーストラリア、ニュージーランドなどの学識者と検証結果報告や情報共有、意見交換、交流を図った。

さらに、新潮流セミナーの内容や、本校の地域活性化の実践例等を加え、「ランドスケープからの地域経営」(全5巻)を出版した。

表-11 新潮流セミナーの開催状況

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
回 数	6 回	3 回	8 回
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした魅力ある観光地域づくり ・アメリカランドスケープの新潮流 ・地域・観光・SDGs ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローカルコミュニティにはたすランドスケープの役割 ・兵庫県の遺伝資源の継承 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイズ & アフターコロナにおけるランドスケープのあり方 ・地域が支える農業 ほか
開催方式 (場所)	会場公開セミナー (ラッセホール・淡路夢舞台国際会議場)	会場公開セミナー (ラッセホール・県立美術館)	WEB (zoomによる遠隔講座)
参加者数	578人	428人	716人

イ 学術交流

① 海外の教育機関との人的交流

海外の多くの教育研究機関等から積極的に客員教員を迎えており、公開講座を含めた国際的な学術交流を行っている。

② 国立台湾大学との交流

国立台湾大学と締結した「学術交流及び連携に関する協定」を活用し、台湾においてフィールドトリップ事業を実施したほか、教授や学生の人的交流や相互訪問、共同研究や学術プログラムへの導入推進等に取り組んでいる。

(4) 地域貢献と情報発信

ア 地域の関係者との連携

地域資源の保全や創出、地域課題の解消に向け、地域の様々なステークホルダー等と連携して研究に取り組むほか、淡路島内の小中学校の教育課程に参画するなど、本来の教育機関としての機能を最大化した取組みを実践する。

イ S G D s 達成に向けた取組み

景観園芸学校における SDGs 推進方策を設定する。

この実践のため、学生を中心とした「SDG s チーム」を結成し、様々なプロジェクトを実践、成果を検証すると共に、広報誌を作成し広く P R を行う。

ウ プロジェクト等の「見える化」

学生、教職員や民間企業が連携し、各種プロジェクト概要を YouTube 等で発信するなど動画を活用した広報活動を強化する。

また、学校 HP で、各種プロジェクトを地図データと紐付けし、“どこで”“何を”“しているか”等を分かりやすく的確に情報を伝える「見える化」を進めていく。

Topic

コロナ禍における県立都市公園の利用実態に関する研究

コロナ禍で日常生活に大きな制約が課されるなか、気軽に心身の健康が維持増進できる場として、広大な空間を持つ都市公園に期待が高まっている。

そこで、コロナ禍における県立都市公園の利用目的や実態を探るため、淡路景観園芸学校と共同で、公園利用者を対象に継続的なアンケート調査を実施した。

- 1 調査手法：直接対面方式
- 2 調査内容：公園利用者の来園目的や利用内容等
- 3 対象公園：明石公園 播磨中央公園
- 4 実施時期：①緊急事態宣言前（2020年3月）、②第1回宣言中（2020年4月）
③第2回宣言中（2021年1月）、④第3回宣言中（2020年5月）

今後、調査対象を全県立都市公園に広げ、ウイズコロナ時代に期待される役割や機能についても研究を進めていく。

《これまでに得られた結果》

両公園はお花見の名所として有名であるが、コロナ禍によりピクニック（お花見）のような集団での飲食を伴う利用が激減している。

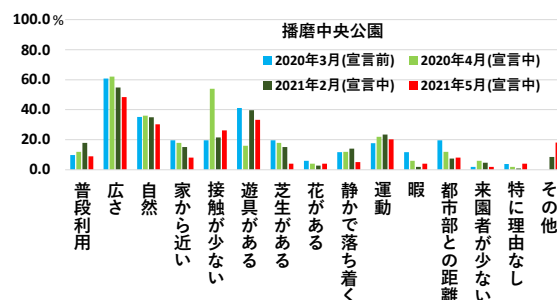
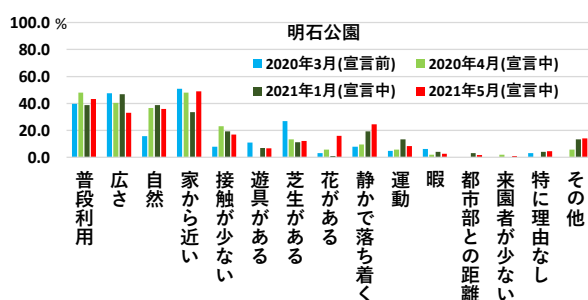
【明石公園】

- ・都市部に立地する大規模な公園であり、日常的な公園利用が多く見られる
- ・コロナ禍で、自然とのふれあいや心の健康を保つ場としての利用が増えている
- ・散歩やウォーキング利用等、身近な健康維持活動のための需要が高まっている

【播磨中央公園】

- ・郊外に立地する大規模な公園であり、平時は、親子連れの遊具利用者が多い
- ・初の緊急事態宣言発令時には遊具を閉鎖したことから、遊具目的の利用者が激減した
- ・感染理由が飛沫感染との認識が定着するなかで、遊具目的の利用者が再度増えている
- ・初の宣言時には、接触を避けるために来園する利用者が増えた
- ・二度目の宣言時以降、サイクリング利用者が激増している

○来園目的



○利用内容

